

【樹木の部屋】

メタセコイア（ヒノキ科メタセコイア属 *Metasequoia glyptostroboides*）

和名；アケボノスギ(曙杉)

別名；イチイヒノキ、ヌマスギモドキ、スイサ(水杉)

英名；dawn redwood

ヒノキ目 落葉針葉樹 **原産地**；中国

花言葉；平和、楽しい思い出

花の色；白、黄



← 写真－1 メタセコイアの樹形

撮影日：2023 年 5 月 21 日

撮影場所：奈良県

浄化センター公園にて

撮影者：M さん



→ 写真－2 メタセコイアの樹形

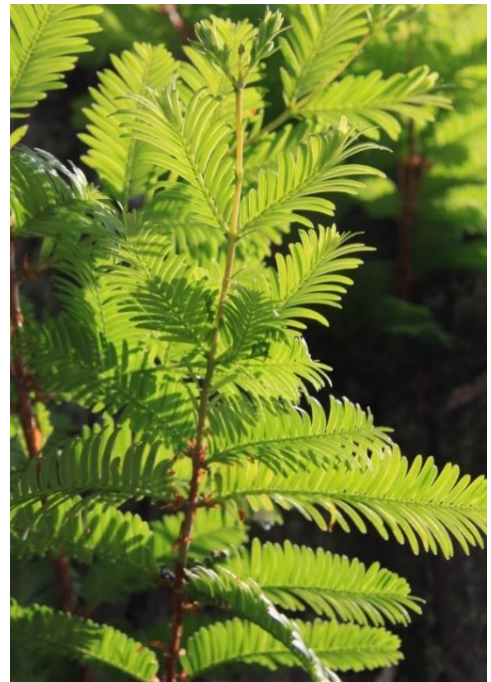
撮影日：2023 年 5 月 29 日

撮影場所：米原市庄界公園にて

撮影者：M さん



← 写真－3 メタセコイアの新梢
 撮影日：2023 年 5 月 21 日
 撮影場所：奈良県
 浄化 センター公園にて
 撮影者：M さん



→ 写真－4 メタセコイアの新梢
 撮影日：2023 年 5 月 21 日
 撮影場所：奈良県
 浄化 センター公園にて
 撮影者：M さん



↑ 写真－5 葉表
 撮影日：2023 年 5 月 22 日
 撮影場所：奈良県
 浄化センター公園にて
 撮影者：M さん



↑ 写真－6 葉裏
 撮影日：2023 年 5 月 22 日
 撮影場所：奈良県
 浄化センター公園にて
 撮影者：M さん



← 写真－7 メタセコイアの樹肌

影日：2023 年 5 月 21 日

撮影場所：奈良県

浄化センター公園にて

撮影者：M さん

メタセコイアは、メタセコイア属の唯一の現生種です。中国原産の落葉高木で、現在では、公園や大きな道路の街路樹などに植栽されて、比較的ポピュラーな樹木だと思います。美しい円錐型の樹形で、遠くからでも見つけることができます。

1941 年に、生物学者三木茂氏によってメタセコイアの化石が、発見されたことで、その存在が明らかになり、1945 年に中国の四川省・湖北省で自生種が発見され、「生きている化石」として知られるようになりました。

常緑樹であるセコイアに似た木の化石としてメタセコイアが発見されたため、発見者は、ギリシャ語で「後の・変わった(meta)」と「セコイア(Sequoia)」を合わせて名付けたそうです。メタセコイアは植生遷移の比較的初期の段階で出現するパイオニア植物で、洪水などによって植生が繰り返し更新される環境に生育していたものと考えられているそうです。国際自然保護連合（IUCN）のレッドリストでは、絶滅危惧種に指定されているそうです。

樹高は 20～35m ほどに生長し、枝には細長い羽のような葉が、左右対称にすき間なくつきます。葉は短枝に対生して 2 列羽状につき、秋になると橙褐色に紅葉し、枯れ落ちます。

幹はしばしばデコボコになり、樹皮は若木では赤褐色、成木では灰褐色、縦に細長く剥がれるのが特徴です。雄雌の区別がない雌雄同株の性質で、冬になると下向きに薄い黄色の花を咲かせます。そして、10～11 月に卵のような球形の実になり、地面にたくさん落とすようです。

公園の街路樹として良く見かけるメタセコイアの木ですが、庭木として育てる場合には、植える場所に注意が必要です。成長すると大きくなるため、庭木には向いていません。植える場合には十分な広さを確保する必要があります。また、近隣への配慮も忘れないようにするとよいです。

剪定に適した時期は、落葉樹木の休眠期間にあたる、冬場の 2 月～3 月ごろに行うのが良いそうです。落葉後であれば、剪定する枝の判断がしやすく、作業も容易になります。剪定方法は、「枝透かし剪定」が適しており、伸びすぎた枝を除去していく方法がおすすめです。とくに、枝が絡んでいる部分や込み入った部分を重点的にすっきりと、風通しをよくすることを意識して行うのがポイントとなります。成長力や萌芽力はとても強いので、強い剪定にも耐えられます。ただ、頻繁に剪定しなくても樹形が整う木なので、比較的手入れも楽です。